

NEW イレシネ パープルレディ

- 低位で株張りがよく、コンテナ向きの品種。枝はコンテナの外へ伸びながら、カスケード状にきれいに下垂する
- ミックスコンテナや単品でバスケット仕立てなどに適した品種
- パープルレディは、花壇定植すると低位置でほふくし、横に広がりながらグランドカバーとなる
- 葉の性質上、日陰や適宜日の陰る場所に置くか、植えつけることが望ましい。湿度のある条件では、多少日差しのある場所でも可能
- 花壇定植の場合、丈は 15 から 20cm、また株張りの直径は 90 から 120cm となる

学名： *Iresine herbstii*

種子粒数の目安： グラムあたり 1,580 粒

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.5 から 6.3、また EC は中庸(0.75mmhos/cm(1:2))を維持する

播種

粗めのバーミキュライトで軽く覆土する

温度

発芽適温： 22 から 24℃
子葉展開後： 18 から 22℃
本葉展開後： 18 から 21℃
本葉以後： 16 から 18℃

光条件(照度)

発芽時： 光をあてると発芽が加速されるので効果がある
発芽後： 10,000 から 30,000 ルクス(1,000 から 2,500f.c.)
成熟期： 温度が適正に維持されている限り、最大で 54,000 ルクス(5,000f.c.)まで可能

湿度

子葉が展開するまでは相対湿度を 95%に維持する

土壌の水分

幼根が発生するまでは土壌を高めに維持し、根の張りが進むにしたがって、水分を減らし乾かしぎみにする。その際、苗を枯らさないように注意する

肥料

幼根が現れてから、比率が 15-0-15 の肥料を 50-75ppm(N)与え、子葉の生長にしたがって 100 から 150ppm(N)の濃度に上げていく

PGR(矮化剤)

プラグ生産のステージでは不要

鉢上げから出荷まで

用土(培地)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.6 から 6.5、初期の EC 値は中庸とする

温度

昼間温度： 18 から 24℃
夜間温度： 16 から 18℃

照度

光(照度)が弱いと葉色が薄いまま銅葉や緑葉のようになる。光が強いほど葉は濃い紫色になるが、その一方で葉の先が巻いてしまうことがあるので注意する

かん水

水やりの間隔をやや空け、乾燥ぎみに管理が望ましい

肥料

週に 1 回程度、各養分を含んだ汎用タイプの肥料を 150 から 200ppm(N)与える。多肥条件では、生育が早まる傾向がある。肥料不足の場合、葉が赤っぽく変色する

PGR(矮化剤)

概ね、矮化剤は不要である。必要な場合でも、肥料(とくにアンモニア態窒素)を抑えることで、枝や茎の不要な伸張を抑制することが可能。また、培地を乾燥ぎみに管理することでも徒長を抑えることが可能である

ピンチ

ピンチは不要

平均的な生産期間

播種から移植まで(288 穴トレイ): 5 から 6 週

移植から出荷まで(10cm ポット): 5 から 6 週

コンテナサイズ	株本数/ ポット・コンテナ	(移植後)出荷 までの週数
10-10.5cm	1	5-6
30-35cm コンテナ、ハンギング	4-5	6-7

※ 72 穴トレイなどで育苗する場合、播種から移植までの期間は 6 から 7 週となるが、鉢上げ後の生産期間をだいたい 2 週短縮することが可能である

病例等

虫害: アブラムシには注意が必要

病気: とくに重大な事例は報告されていない

ホームガーデナー向けのアドバイス

株を育てる場合は日当たりの良い場所、あるいは適宜日陰になる場所を選びましょう。日に当たれば当たるほど、葉色がより濃いパープルに色づきます。一方で日当たりが不十分だと、葉色の色づきが薄く、大葉になってしまい、株も横に広がらず立ち性になってしまいます。パープルディはガーデンに用いることも可能で、その場合の植付間隔は 30cm 程度が妥当です。定期的に汎用タイプの肥料を与えましょう。葉色が赤くなったら、肥料が不足気味の兆候と捉えましょう

注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産された植物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を十分にまた正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに則った正しい使用方法とるようにしましょう

EC 値について: EC(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、条件によっては適合し得ない場合があります。